

## 発表⑦ 福井ブロック代表

### 「言葉の力」 福井市足羽中学校 1年 田中 陽悠（たなか はるひさ）

「言葉の力ってすごい」そう思えたのは、僕が経験した2つの出来事からです。みなさんは、「言葉」で心を動かされたことがありますか。

僕は、小学校6年生のとき、市の連合体育大会で、400メートルリレーの選手として出場しました。練習のときからバトンパスもうまくいっていて、タイムもよく、みんなで1位を目指して練習をがんばっていました。そして迎えた本番。次の走者にバトンを渡そうとした瞬間、前を走る子の足にバトンが当たり、落としてしまいました。その瞬間、頭が真っ白になり、どうしたらよいか分からずぼう然と立ちすくんでしまいました。

辛い気持ちでみんなが待っている集合場所に戻ると、みんなは「ドンマイ」とか「大丈夫？」と優しい言葉をかけてくれました。それを聞いたとき、今までの辛い気持ちが一気に軽くなりました。そして、安心したのか大粒の涙があふれ出てきました。僕は、このときほど、言葉の持つ力を感じたことはありません。たった一言の言葉が僕を救ってくれたのです。

2つ目は、最近の出来事ですが、これもまた、僕にとって忘れられない出来事になりました。僕たち1年生は、今年の6月に入学しました。足羽中学校は、3つの小学校から生徒が集まって来ています。僕の出身校は小規模のため、中学校で同じクラスになれるのは男女を合わせて3名ほどです。不安を抱えながら迎えたクラス発表の日。同じ小学校の男子は僕1人だけでした。友達ができるか心配で、次の日、学校に行くのがいやですごく落ち込んでいました。しかし、少したって、担任の先生との教育相談が終わって教室に戻ると、ある男子が僕に話しかけてくれました。いろいろ話している中で、僕が男子1人だけということが分かると「いつでも気軽に声かけて。」と優しい言葉をかけてくれました。それを聞いたとき、とても気持ちが楽になり、それからどんどん友達もでき始めました。今では、このクラスで良かったと思えるまでになりました。

僕はこれらの経験から、言葉の持つ力の素晴らしさに気づくことができました。たった一言の言葉で人は救われることがあるのです。

その一方で、言葉の使い方を一步間違えると、トラブルが起きたり、取り返しのつかないことになってしまったりすることもあります。よく新聞で、いじめに関する記事を見ることがあります。何気なく言った一言が相手の心を傷つけ、自殺に追いこんでしまうこともあります。最近のニュースでSNSによる誹謗中傷が原因で芸能人が亡くなったことを知りました。他にも抗議デモなどの大人数での批判は、政府や大きな権力を持っているものでも動かしてしまう力があり、言葉にはそのような恐ろしい一面もあるのだと改めて感じました。

言葉は水のように形はありませんが、使い方によっては、人に勇気や自信を与えるものにもなり、相手の心を傷つけるすどいナイフのような凶器にもなりかねません。まさに言葉は変幻自在です。自分がいいと思って言った言葉も相手からするとあってほしくなかったということもあります。言葉をたくさん覚えても、相手の気持ちや言葉の意味をよく考えて適切に使わないといけません。

最近では、新型コロナウイルスの影響で直接会えなかったり、人と会話をする機会が少なくなったりしています。また、患者に対しての誤解や偏見も話題になっています。この時期だからこそ言葉がもたらす力や言葉の大切さを実感しなければいけないと思います。そして、しっかり考えて行動していくことが大切だと思います。

僕は、これまで「言葉」でたくさん勇気づけられて生きてこられました。この僕が受け取った「言葉」という大切なもので、今度は、困っている人や苦しんでいる人を助けられるそんな人になろうと思います。